都心臨海部の観光をもっと楽しく新しく便利にするサービスも!

位置情報を活用したサービス基盤の構築

Location Based Service(LBS)×IoT×交通

公共空間や建物内のWi-Fiなどを活用して位置情報を取得するとともに、交通機関と連携し、IoTを活用して観光拠点などへアクセスするためのリアルタイムの交通情報や来街者のニーズにあわせたコンテンツの配信など、来街者の利便性向上を図るための「エリアマネジメント・プラットフォーム」を構築します。

提案会社のプラットフォームを活用したナビの例

オンデマンド乗合交通サービス

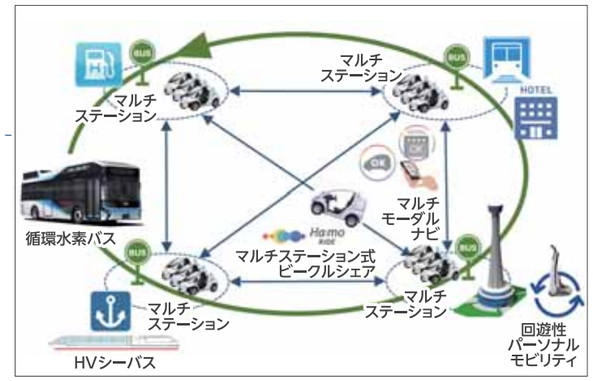
(AIを活用した交通システム)

新たな乗合交通のサービスとして、運行ルートを固定せず、AIを活用して来街者の移動需要に応じた運行を行えるようなサービスを提供するものです。利用者はスマートフォンや乗合ポイントから簡単に呼び出し、また、運行者はAIにより目的地への最適な運行ルートを設定し、自由度が高く、利便性の高い新たな交通の仕組みづくりを行っていきます。

ルートを固定せず需要に応じて
車両を走行させる新たな交通の仕組みです。

ハード・ソフト両面にわたる各種モビリティ・サービスの導入、シームレス化

来街者に楽しく快適な移動体験を提供するため、マルチステーションを拠点とした超小型モビリティのシェアリングサービスや、循環水素バスなど先端技術を用いた様々な交通モードを導入するとともに、予約機能のあるアプリの提供などにより、シームレスな移動環境を実現します。



交通システムの概念図

[今回ご提案いただいた民間事業者等の皆様]
●㈱NTTドコモ ●エムシードゥコー㈱ ●神奈川県トヨタ販売店【幹事会社:神奈川トヨタ自動車㈱、横浜トヨペット㈱】 ●関内・関外地区活性化協議会
●京浜急行電鉄㈱ ●国際航業㈱ ●泉陽興業㈱ ●(一社)横浜港振興協会を代表とする共同体【構成員:㈱YNP、横浜港運協会、関内・関外地区活性化協議会、NPO法人HamaBridge濱橋会、(一社)美港都市横浜を創る会、(一社)横浜港振興協会】
●ルグランブルーライン【構成員:㈱ケーエムシーコーポレーション、㈱横浜グランドインターコンチネンタルホテル】 (50音順)

平成30年5月 初版発行 令和元年8月 第2版発行
編集・発行 横浜市都市整備局企画課 〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地 TEL:045-671-3749 FAX:045-664-4539
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/sogotyousei/tasainakotsu/koubo.html

ヨコハマ都心臨海部の

まちを楽しむ多彩な交通

民間事業者等の皆様から様々なご提案をいただきました

横浜都心臨海部において、移動自体が楽しく感じられるような多彩な交通サービスの導入を進めていくため、今回、民間事業者等の皆様から様々な提案をいただきました。

魅力あふれる世界都市横浜の実現に向けて、人々が自由に行き交うことができる、回遊性の高いエリアの形成を目指していきます。

OPEN YOKOHAMA 横浜市